

123 国交省SAS対策マニュアル改訂

123 国交省SAS対策マニュアル改訂

8月25日、国交省から「自動車運送事業者における睡眠時無呼吸症候群対策マニュアル」が改訂版として発出されました。

今回のポイントは、SASスクリーニング検査の必要性の周知はもちろんだ、同検査前後の社内での取り組みや治療法、乗務可否判断、教育・予防など社内での一連の取り組みを具体的に示した踏み込んだ内容となっていることです。実は、同マニュアルの作成に私は昨年から関わらせていただき、この度の発出に至りましたので、自身としてもかなり思い入れのあるマニュアルとなっています。

■《SAS対策Q&A50》発刊
そして国交省のSAS対策マニュアルで説明しきれなかった、より踏み込んだ内容をOCHISのSAS対策事業10周年



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

おかげさまでSAS事業立ち上げから11年。1年遅れの10周年記念セミナーは、10月9日大

記念として150ページの冊子《SAS対策Q&A50》としてまとめ、マニュアルと同じタイミングで1000部発刊しました。本誌の特徴は、実際に事業者さまから届いた質問やお困り事、さらにつぶやきなどを50問のQ&Aとして事業者さまの目線で具体的に解説していることです。ぜひ、国交省のSAS対策マニュアルと併せて活用されることをお勧めします。さらに、事業者さまには(冊数に限りがありますが)無償での提供も予定しておりますので、お問い合わせください。

■記念セミナーでは国交省課長が講演

阪大学中之島センターで、「運輸業界の安全対策 更なる進化にむけて」SAS・疲労・安全管理体制のクロスオーバー」をテーマに開催します。

ドライバーのSASや体調不良に起因する健康起因事故が相次ぎ、さらに高齢化を目前にして、健康管理を軸とした安全対策が急務となっています。国交省は9月、産官学による「事業用自動車健康起因事故対策協議会」を立ち上げ、関係者が一体となった事故防止に奔走します。次世代の安全対策のヒントをぜひ、本セミナーで皆様と共有・模索できればと思います。

特別講演は疲労研究の第一人者である大阪市立大学大学院疲労医学講座教授の梶本修身氏、基調講演は国交省の安全政策課長の平井隆志氏と事業用自動車事故調査委員会委員長の酒井一博氏(労働科学研究所所長)、梅田運輸倉庫常務取締役の岩崎小夜子氏の3氏です。すでに全国から順次お申し込みを頂いております。ぜひ、お早めにお申し込みください。詳細プログラムはHPをご覧ください。

(今回は10月12日に掲載)